

栽培と私たちの生活

コンテナガーデン作りを通して栽培技術の基本を身につけ、花を育成しましょう。

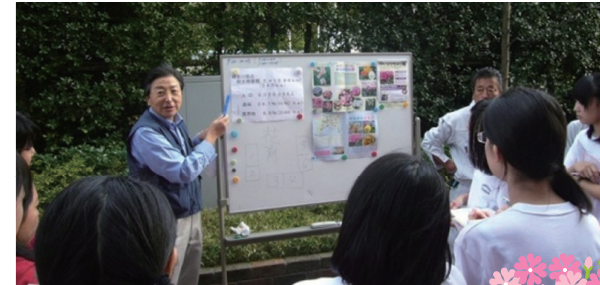


- 1.地域の農業や園芸のことを知ろう
- 2.栽培計画を立てよう
- 3.材料や花材を準備しよう
- 4.コンテナガーデンの作り方
- 5.管理方法
- 6.コンテナガーデンの記録

年 組 名 前

1.地域の農業や園芸のことを知ろう

私たちの住む地域の農業や園芸の話をもとに専門家の方から聞きこよう。



- どのような作物が作られているのか、インターネットなどを利用して調べてみよう。
- 地域の栽培現状や課題を話し合ってみよう。
- 栽培する上で大変なことや、疑問点を質問してみよう。



〈専門家の方の話をメモしよう〉

2.栽培計画を立てよう

どのようなコンテナガーデンをつくりたいか・どのような場所にコンテナガーデンを置きたいかをグループで話し合い目標を設定しよう。また、コンテナを置く場所の環境について調べたことを書いてみよう。

3.材料や花材を準備しよう

材料の準備



①コンテナ
丸形や横長のコンテナなど用途に合わせて形を選ぶ。



②培養土
肥料の入った新たらしい土。



③鉢底石
排水性をよくするために鉢底に敷く石。



④肥料
植えてから開花をよくするために追肥を行う。



⑤軍手、ビニール手袋



⑥シャベル



⑦土入れ
カップやペットボトルなどを利用するとよい。

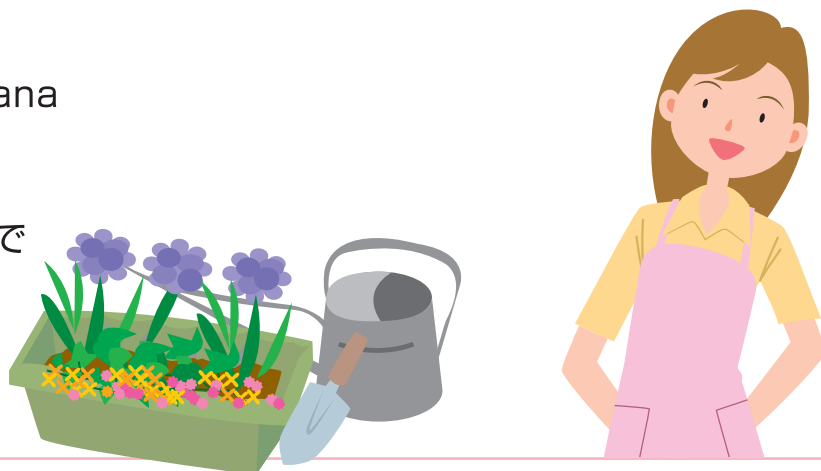
※その他、花の名前を書くラベル・マジック・ジョウロなどを用意する。

花材の準備

ビオラ(秋まき一年草)のポット苗を用意します。(植え付け時期:9月下旬~11月頃)
園芸店や花店では、さまざまな色合いのビオラが売られていますね。
毎年多くの新品種が作られて、出荷されています。



品 目:ビオラ
学 名:Viola × wittrockiana
科 名:スミレ科
産 地:北ヨーロッパ
開花期:10月頃から5月頃まで



4.コンテナガーデンの作り方

グループ(3人~4人)に分かれて植え付けを行います。

①用意したコンテナに鉢底石を2~3cm程度入れて、培養土をいれます。

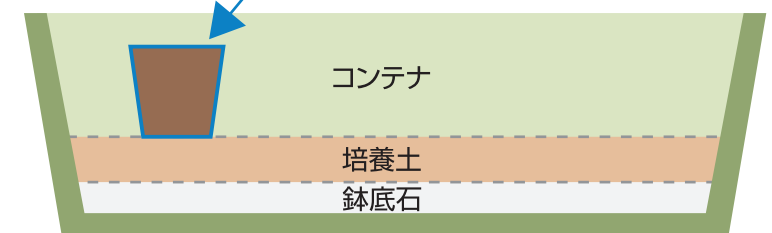


●専門家の方から植え付けについての説明を聞きます。



〈培養土の入れ方〉

ポット苗を入れてたときに、鉢のふちから3cmぐらいのところを苗の根鉢がくるように、鉢底石の上に培養土をいれます。



コンテナを横から見た図

②コンテナに培養土が入れ終わったら、花を選び植え付けます。



グループにコンテナ1つに、色合いを考えて苗を5個選びます。

- ・すべて同系色でまとめる
- ・単色(1色)にする
- ・混色する

選んだ色合いで、コンテナガーデンのイメージも変わります。

〈花選びのポイント〉

コンテナガーデンをきれいで長持ちさせるために丈夫な苗を選びましょう。

- ・元気で全体がしっかりとした苗
- ・葉色が濃く、徒長していない。
- ・鉢底から根があまりはみだしていない。(根がたくさん出ている場合は根詰まりしている場合がある)

※徒長(とちょう)……作物・樹木の莖や枝などがむだにのびてしまうこと。肥料の過多、日照の不足などから起こる。

③ポットから花苗を出します。



片方の手で、しっかりと苗の根元を押さええます。茎を、親指と人差し指ではさむようにするといいでしょう。

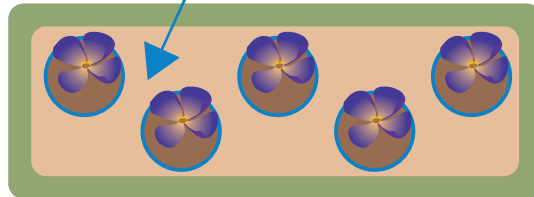


花苗を逆さまにして、ビニールポットを引き抜きます。なかなかポットがとれないときは底穴から指で押すようにするとはずれます。

④苗を植え付けていきます。



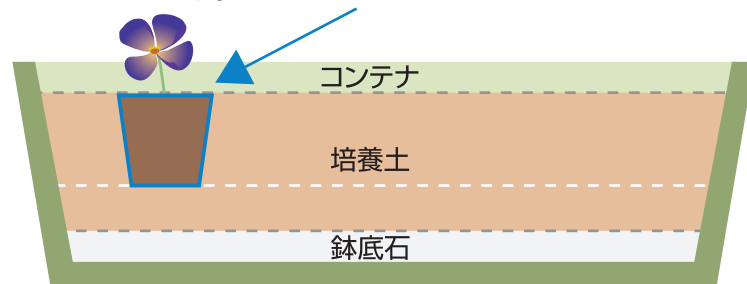
花苗を、二段に互い違いに置いて土を入れていきます。



コンテナを上から見た図



〈培養土の入れ方〉 花苗の株もとまでしっかりと培養土をいれます。



コンテナを横から見た図

※球根を一緒に植える場合

ビオラの苗の間に、チューリップの球根を植えていきます。



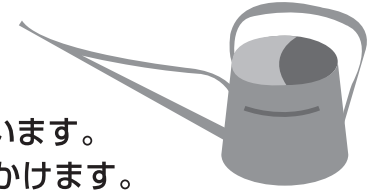
5.管理方法

完成したコンテナガーデンは、日当たりがよく風通しのよい場所に設置しましょう。日当たりが悪い場所では花数が減ったり、徒長した状態になります。



かん水

水やりをすることを「かん水」といいます。底から流れ出るぐらいの水を土にかけます。



設置後は、土の表面が乾いてきたらジョウロでかん水しましょう。必ず土の部分に水をかけます。午前中にかん水をするとういでしょう。葉や花に水をかけるとカビがはえたり腐る原因になります。

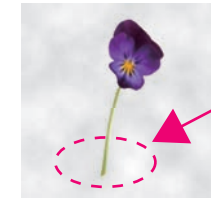


花がら摘み

花を長く楽しむためには、日々の手入れが大切です。咲き終わった花をそのまま放置すると、見た目が悪いだけでなく、結実して次の花が咲きにくくなります。また、落ちた花びらが腐ると病気の原因になります。



枯れた花茎の根元から手で摘み取って、できるだけ花茎を残さないようにします。



肥料

晩秋から春までの間、次々にたくさんの花を咲かせます。花を咲かせる体力を維持するために、追肥をしましょう。苗を植える時には適量の粒状の緩効性肥料、根がしっかりと張り始めたら10日に1回ほど、液体肥料を施すとよいでしょう。



道具の管理

園芸道具は、置く場所を決めて整理整頓します。次に使う人の事を考えて土がついたり、汚れはその都度きれいに落としましょう。



はさみを使った後は、ぞうきんで汚れを拭いてからしまえます。ぬれたままにしているとサビがついて切れなくなります。

道具置場
日頃よく使うジョウロやハサミなどの道具は、しまう場所をまとめておくと使いやすい。



6. コンテナガーデンの記録

コンテナガーデンを観察して記録を取ろう。日々の観察の中で気がついたことや気をつけることなどを詳しく記録しておきます。絵やスケッチなどもそえるとよいでしょう。

かん水や花がら摘み

日々の作業内容を記録しましょう。天候や気温の変化でかん水の回数がかわたり、気がついたことを書いておきましょう。

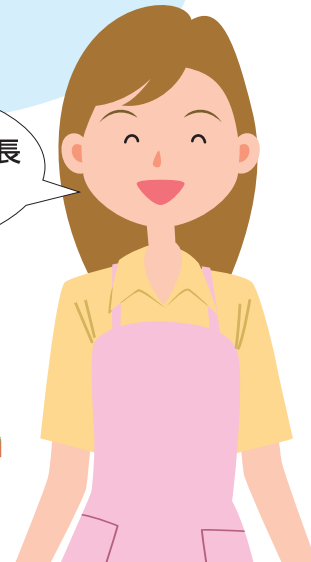
病虫害予防・駆除

病気になったり、虫が発生したときには早めに駆除をします。薬剤を使う場合は、専門家や先生に相談をしましょう。

花数や葉の生長

つぼみや花の形、葉の大きさはかってスケッチとともに記録しましょう。

スケッチを残しておくと、生長の段階がよくわかりますね。



コンテナガーデンの記録



月 日() 年 組 名前



コンテナガーデンに植え付けた植物

品 種 品 目		
		植物の分類

	花や葉のスケッチ	作業の内容	観察の記録
月 日			
月 日			
月 日			
月 日			
月 日			

栽培と私たちの生活

【教科】技術・家庭科 (技術分野)
C. 生物育成に関する技術

〈栽培技術の基本を知る〉

コンテナガーデン作りを通して栽培技術の基本を身につけ、花を育成する

〈題材設定の理由〉

コンテナガーデン作りを通し栽培技術を身につけて花や緑に親しみをもち、花のある環境が学校生活に潤いを与え、よりよい生活環境の創出につながっていくことを体感し、家庭や地域の生活の中でも実践していこうという積極的な態度を身につけさせたい。

〈題材のねらい〉(指導目標)

1. コンテナガーデン作りの基本的知識と技術を身につける。
2. 栽培する植物に適した生育環境を知る。
3. 植物の生育の様子を観察し、花がら摘みやかん水の仕方、追肥などを適切に行い、育てることができる。

〈準備するもの〉

コンテナ容器、培養土、鉢底石、肥料、シャベル又は、ペットボトルの土入れ、ビオラとパンジーの苗、チューリップの球根など。

〈副読本P6〉

5. 管理方法

〈副読本P7〉

6. コンテナガーデンの記録

- ・ 3～4人1グループでプランターに軽石と土をつめていく。
- ・ パンジー、ビオラの苗を互い違いに植え土をかぶせ、間にチューリップの球根を植えていく。
- ・ コンテナのふち約3センチぐらいまで土をかぶせる。
- ・ 鉢底から水がでるぐらいまで水をたっぷりやる。
- ・ コンテナに名札をつけ、植え付けた日付や花の名前を書いておく。
(校門付近の通学路に設置)

- ・ ウォータースペースを確保する。
(水やり時に用土があふれないようにわずかな時間水がたまるスペースのこと)

- ・ パンジー、ビオラの栽培と管理作業を定期的に行う。
- ・ 花がら摘みの仕方と追肥の時期の説明を受け、今後の手入れの見通しをつける。

- ・ 日常の世話をよりよく育てるための方法を考えさせる。
- ・ 肥料の三大要素を確認させる。
(チッ素、リン酸、カリウム)
- ・ パンジー、ビオラの生長を記録して考察できるようにする。

- ・ 作業した内容やスケッチを「コンテナガーデンの記録」に記入する。

授業展開例

学習項目	学習活動・内容	指導のポイント
講師紹介		ホワイトボード、作業用の機の準備
〈副読本P2〉 1. 地域の農業や園芸について知ろう 2. 栽培計画を立てよう	・ 地域の農業、園芸についての現状を知る。	・ 生育に適した土について考えさせる。 (団粒構造:保水性と通気性)
〈副読本P3〉 3. 材料や花材を準備しよう	・ 栽培に必要な資材や土壌、気象的要素などを知る。	・ 栽培に必要な用具を適切に使用できるようにする。
〈副読本P4〉 4. コンテナガーデンの作り方 (コンテナガーデン作りの実習)	・ 鉢底石、土の入れ方 ・ ポットからの花の出し方 ・ パンジー、ビオラの特徴や扱い方 ・ 植え付ける植物に適する条件などを知る。	・ ペットボトルで作った土入れを使用し、家庭にあるものの再利用で手軽にできることに気づかせる。 ・ ポットから花を出す作業がはじめての生徒がいるので、根の観察や花のつくりの観察をするように確認

花育年間計画				
月		中学1年 技術・家庭(技術分野)	中学2年 技術・家庭(技術分野)	中学3年 技術・家庭(技術分野)
4月	時期			前年度より引き継ぎ
	ねらい			
	内容			
5月	時期			
	ねらい			
	内容			
6月	時期		6月5日(火) 2クラス	
	ねらい		学校行事(オープンキャンパス)で、来校者を気持ちよく迎えるため、校門にコンテナガーデンを飾り、歓迎の気持ちをあらわす。	
	内容		夏用コンテナガーデンづくり(ペチュニア、マリーゴールド、サルビア、日々草等)	
7月	時期			
	ねらい			
	内容			
8月	時期			
	ねらい			
	内容			
9月	時期	午前中授業期間 9月18日～27日	9月6日(木) 2クラス	
	ねらい	寄せ植えのプランター作りを通して、幼児とふれあい、幼児への関心を深める。また、花を介して、異年齢交流や地域交流を促進する。	文化祭で、来校者を気持ちよく迎えるため、校門にコンテナガーデンを飾り、歓迎の気持ちをあらわす。	
	内容	寄せ植えプランター作り 園児を招いて一緒にプランターをつくる。(パンジー、ピオラ等)園に持ち帰って育ててもらい、交流のきっかけにする。	秋用コンテナガーデン作り (りんどう、けいとう等)	

10月	時期			特別時間割期間 10月29日～11月9日
	ねらい			季節感のある学校の雰囲気作りのため、校門にコンテナガーデンを飾る。3月の卒業式に花を咲かせる工夫と手入れをし、卒業の喜びをあらわす。
	内容			冬～春用のコンテナガーデン作り(パンジー、ピオラ、チューリップの球根)
11月	時期			
	ねらい			
	内容			
12月	時期			
	ねらい			
	内容			
1月	時期			
	ねらい			
	内容			
2月	時期		2月6日～27日	
	ねらい		技術分野の単元「材料と加工に関する技術」の製作品としてハンギングバスケット容器を製作し、次年度、季節にあったハンギングバスケット製作への意欲を高める。	
	内容		自然素材や日用雑貨を利用してハンギングバスケットを製作する。	
3月	時期			
	ねらい			
	内容			